

令和4年8月29日

各位

**ママコミュ！ドットコム(大阪府大阪市)とNPO 法人こどもトリニティネット(岐阜県岐阜市)が
「災害時における相互協力に関する協定書」を締結
～スペシャルニーズのある子どもと家庭を平時・有事の両面で支援する「遠隔共助」を提唱～**

ママコミュ！ドットコム(大阪府大阪市天王寺区)とNPO 法人こどもトリニティネット(岐阜県岐阜市)が「防災週間」初日の2022年8月30日(火)に「災害時における相互協力に関する協定書」を締結します。

全国的にみても、自治体と企業間での包括的な災害協力協定が締結される事例は多数存在しますが、私たちのような地域で活動する子育て団体が災害時の相互協力協定を締結する例は稀有と言えます。私たちはこの協定を軸に、スペシャルニーズのある子どもと家庭を平時・有事の両面で支援する新たなセーフティネットとして「遠隔共助」を提唱し、社会実装をめざします。

私たちは大阪と岐阜において、子育て世代に向けた防災教育を通じて防災意識の向上と地域防災の担い手育成を目的とし、大学等の教育機関や行政と連携し防災・減災に関するイベント及びセミナーの企画・運営を実施してきました。

これまでの活動の中で子育て当事者として地域の子育て層との関係を深め、細かなニーズを汲み取ってきた私たちだからこそ、平時から様々な困難を抱えるだけでなく災害時には配慮や支援体制が迅速に整いつらい「スペシャルニーズのある子どもとその家庭」(ヤングケアラーを含む)に対し、具体的かつ効果的な支援を迅速に行うことができると考え、一連の活動を通じて「誰一人取り残さない」社会の実現に貢献します。

過去の災害においては避難所や被災後の生活で様々な不安や課題が数多くあげられており、災害時における子育て家庭への支援の脆弱性、不確実性に大きな危機感と問題意識を持っています。「熊本市男女共同参画センターはあもにい」が実施した熊本地震を経験した被災地の育児中の女性を対象にしたアンケートにおいても同様の課題が挙げられています。

https://harmony-mimozza.org/aboutus/report/docs/jishin_ikuji_report.pdf

【本協定を結ぶに至った団体としての共通課題】

- (1) 地域活動や防災に関心の薄い子育て世代に対する持続的な働きかけやアプローチが難しく、子育て支援に取り組む他団体との交流を通じたノウハウや知識のアップデートの機会が少ないこと。
- (2) 地域内での団体間の交流や連携が進展した段階においても、発災時にはこうした団体運営者も被災者になり、要支援者、援護者に対し十分な情報収集・発信や支援が困難な状況に陥ることが想定されること。

【本協定で解決したい子育て家庭を取り巻く課題】

- (1) 災害時における子育て世代や、特にスペシャルニーズ※のある子どもとその家庭への避難所での理解や支援が少ないこと。ゆえに被災した際には避難したくてもできず、リスクのある自宅や公園、車中など、避難所以外の居場所を選択し生活する子育て世代が増加すると想定されること。
※ここでは出産を控える妊婦、病気や障がい児、発達障がい児童、特定のアレルギーがある子ども、外国籍などの子どもをもつ子育て家庭に加え、昨今社会問題化している「ヤングケアラー」(家族の介護や世話を日常的に行う子どもや若者)を指します。
- (2) 避難所等での子育て世代の本質的なニーズに対する物資供給の体制や、それらの仕組みをつくる機会である地域・自治体の災害対策会議等での女性及び子育て世代の参画率が低いこと。
- (3) 災害時には出典やエビデンスが不確かなものを含め情報が氾濫し、命をつなぐうえで不可欠な正確かつ本当に知りたい情報が入手しづらく、被災の当事者が情報の精査や発信を担うことは困難を極めること。

従って、大阪と岐阜という同時被災の可能性が低い遠隔地間であり、かつ互いの災害リスクが異なる両者が災害時の協力体制を構築することにより、スペシャルニーズのある子どもとその家庭に対し迅速かつフレキシブルな支援を行うことが可能であると考えています。

この夏も全国各地で自然災害の発生が相次ぎ、大きな被害が発生しています。私たちはこれまでの地域内共

助に加えた新たなセーフティネットとして、「遠隔共助」の有効性に注目し、平時、有事の双方においてスペシャルニーズのある子どもとその家庭を守り、平時、有事の両フェーズにおいて安全安心な子育て環境の実現に貢献するべく、このたびの協定書締結に至りました。

この協定を踏まえ、幼稚園、保育園、児童施設等の BCP 策定支援や防災人材の育成のほか、遠隔共助の有効性について防災研究者と共同研究を行い、実証実験を通じてこの仕組みを社会実装するべく取り組んでまいります。

【今後の活動計画】

- ◆2022年8月 協定に基づく事業主体としてコンソーシアムを設立
- ◆同年 10月 被災地域の復興における子どもと家庭の支援に関する研修会
スペシャルニーズを持つ子ども、家庭への避難ガイドラインに関する共同研究のキックオフ
- ◆同年 12月 幼稚園、保育園、こども園等の BCP 策定支援に関する研修
子どもに関わる人材向け防災カードゲームの共同開発、遠隔避難シミュレーション訓練

【協定締結】

◆日時:2022年8月30日(金) 大阪市中央公会堂(大阪市北区中之島)
調停締結後、13:00に大阪市役所(所在地:大阪府大阪市北区中之島1丁目3番20号)にて西原昇市民局長を表敬訪問。*同行取材可能です。事前にご連絡ください。

【アドバイザー】

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 教授 生田 英輔(いくた えいすけ)氏
岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授 小山 真紀(こやま まき)氏
岐阜大学 地域減災研究センター 特任准教授 村岡 治道(むらおか はるみち)氏

【協力企業、団体】

一般社団法人災害対策建設協会 JAPAN47(フォーセブン)
特定非営利活動法人レジリエンス教育研究所
西尾レントオール株式会社
株式会社 MT-NET
株式会社チューキョーP&G
田中手帳株式会社
一般社団法人全国大家の会
よんなな防災会
よんなな防災会女子部

【事業主体】

協定を締結する両団体代表者が共同代表を務めるコンソーシアムを組織します。

- ・団体名: ママコミュ!ドットコム
- ・代表者: 代表 出水 真由美(いずみ まゆみ)
- ・設立: 2014(平成26)年4月1日
- ・所在地: 大阪府大阪市天王寺区上汐4丁目4番25-905号
- ・連絡先: info@mamacomu.com、090-1028-3719(出水)

- ・団体名: NPO 法人こどもトリニティネット
- ・代表者: 理事長 桐部 遥奈(きりべ はるな)
- ・設立: 2017(平成29)年4月24日
- ・所在地: 岐阜県岐阜市雄総桜町3丁目82番地
- ・連絡先: kodomo.tn@gmail.com、090-4218-4740(桐部)

【この協定に関するお問い合わせ】各団体事務局までお願い致します。